

水野健一郎、我喜屋位瑳務らによって結成された西東京系美術グループ
「最高記念室」が「FUTURE FOR FUTURE」を開催



最高記念室

FUTURE FOR FUTURE

展覧会名：最高記念室 「FUTURE FOR FUTURE」

会期：2015年 10月17日(土) - 11月28日(土)

休廊：月、火、水曜日休廊 ※会期中の祝日は通常営業

時間：12:00-20:00

会場：Fm

東京都渋谷区恵比寿西 1-33-3 光雲閣 110

Tel : 070-6969-1412

URL: www.galleryfm.com/fff

オープニングパーティー：2015.10.17 (土) 17:00-20:00

担当：佐々木真純 (info@galleryfm.com)

Fm は、10月17日（土）より最高記念室「FUTURE FOR FUTURE」を開催します。

最高記念室は、水野健一郎の呼びかけにより、我喜屋位瑛務、高松徳男、足立拓人、堀田知聖（仮メンバー）とともに結成された美術グループです。美意識が抛り所を失いつつあるこの時代を、「美意識消滅の危機であると同時に、流行に左右されない純粹美意識に昇華するまたとない機会」と捉えるための「超現実肯定法」をご覧ください。

最高記念室 「FUTURE FOR FUTURE」 ステイトメント

美意識は往々にして流行に左右されます。流行の波はリニューアルを施されながらも幾度となく繰り返し訪れ、その周期は年々加速度的に短くなっています。しかも流行はひとつではありません。多種多様な流行の残像が幾重にも重なり合い、やがて美意識は抛り所を失います。それは美意識消滅の危機であると同時に、流行に左右されない純粹美意識に昇華するまたとない機会でもあります。目を瞑り、遙か遠い未来に思いを馳せてみましょう。そこはもはや地球ではなく、かといってどこか別の惑星というわけでもなく、ベンハムの独楽に浮かび上がる虹のように儚い世界が出現するでしょう。最高記念室という部屋はその世界に存在します。これは現実逃避でしょうか。いいえ、くにえだくん。これこそが僕らの超現実肯定法なのです。

（2015年8月／最高記念室 水野健一郎）

《最高記念室 (psychokinesis)》

2011年水野健一郎の呼びかけにより結成された西東京系美術ユニット。「西東京」には「西新宿」「関西」「西海岸」「西ドイツ」「西遊記」などのような強い西性はなく、どちらかという「郊外」という言葉に近い意識下にある。スタイルや文脈にとらわれず個人的な美意識だけをたよりに制作した作品を持ち寄り、世代を超えてその最高感を分かち合うことを目的とする。2015年現在、メンバーは、水野健一郎、我喜屋位瑛務、高松徳男、足立拓人、堀田知聖（仮メンバー）。全員絵を描いていることから平面作品が中心となる。ちなみに「最高記念室」という名前の出自は水野健一郎の言葉作品『ワーズアタック』（1998年～）。

最高記念室 展覧会歴

2013年 最高記念室によるエキジビション「最高記念室」 (TOKYO CULTUART by BEAMS)

最高記念室メンバー

水野健一郎 (Kenichiro Mizuno)

<http://kenichiromizuno.blogspot.jp/>

1967年岐阜県生まれ。東京都在住。鳥取大学工学部社会開発システム工学科中退。セツ・モードセミナー卒業。既視感と未視感の狭間に存在する超時空感を求めて自身の原風景であるテレビアニメの世界観を脳内で再構築し、ドローイング、ペインティング、グラフィック、アニメーションなど、多様な手法でアウトプット。個展などの展示活動の他、ジャンルを超えたコラボレーションを精力的に行う。作品集『Funny Crash』(2009年)、『KATHY's "New Dimension"』(2011年)を TOKYO CULTUART by BEAMS より刊行。2013年より美学校「絵と美と画と術」講師、東北芸術工科大学映像学科非常勤講師。

我喜屋位瑛務 (Isamu Gakiya)

<http://gakiyaisamu.com/>

1974年沖縄県生まれ。東京都在住。子供の頃見たテレビ（アメリカチャンネルや本土の民放放送）やアメリカ占領下の名残など、雑多な文化から受けたインスピレーションを元にペイント、ドローイングやコラージュを雑多なスタイルで制作する。『1_WALL』展で初代グランプリ。2013年活動再開した GREAT3 のヴィジュアル全般を担当。

高松徳男 (Norio Takamatsu)

<http://www.ascomnet.net/noriot/>

1978年兵庫県生まれ。埼玉県在住。2001年インターメディウム研究所「IMI」写真コース修了。1999年『Young Japanese Photographers 10』参加。2004年第22回グラフィックアート『ひとつぼ展』入選。2009年第1回グラフィック『1_WALL』入選。2013年個展『1985年のゲイラカイト』、THE blank GALLERY『POSSIBLY TALENTED Vol.5』参加、ターナーギャラリー『春のカド』出品。

足立拓人 (Takuto Adachi)

<http://ashidetatelu.org>

1981年香川県生まれ。東京都在住。CD、Tシャツ、電子書籍などでイラスト、デザインを制作。フリーズ制作集団『KNAKED』、絵本ユニット『MAMI』を立ち上げ幅広いジャンルで活動中。現在はアートユニット『最高記念室』に参加し TOKYO CULTUART by BEAMS にて展示『最高記念室』(2013)を開催。SUMMER SONIC 2014、2015 にてライブペイントを作成。

堀田知聖 (Hotta Tomoaki)

<http://hottatomoaki.com/>

1990年新潟県生まれ。東京都在住。画家。多摩美術大学美術学部絵画学科油画専攻入学後転学科、同大学グラフィックデザイン学科卒業。美学校講座「絵と美と画と術」6期生。賞罰なし。2015年 No.12 Gallery 『もらいゲロ』 (2人展:堀田知聖/加古万貴)